



日耳鼻医会 FAXニュース

平成28年11月8日発行 第244号

◎平成28年度第1回医会長協議会のご案内

日時:平成28年11月27日(日) 12:30~15:30

会場:ベルサール八重洲(東京駅近く)

【報告事項】

1. 活動報告(平成27年12月~平成28年11月)
2. 第41回臨床家フォーラム「中四国フォーラムin下関」
3. 第42回臨床家フォーラム・創立50周年記念式典案内
4. 平成28年度公立学校レセプト調査中間報告
5. その他

【協議事項】(フリーディスカッション)

1. 全国組織の医会設立に向けて日耳鼻医会として何をなすべきか
2. その他

<お願い>

- * 協議事項1. については是非とも忌憚のないご意見を頂きたく、万障お繰り合わせの上、ご出席下さい。
- * 医会長先生ご欠席の場合、代理の先生の出席を是非ご配慮下さい。
- * 協議会の後、15時40分より懇親会を予定しておりますので併せて宜しくお願い致します。

＝会員の皆様へ＝

全国組織の耳鼻咽喉科医会の設立に向けて

理事長 伊東祐久

会員の皆様には平素より当会へのご理解ご支援を頂き心より感謝申し上げます。有り難うございます。

既にFAXニュースなどのご案内させて頂いておりますが、日本耳鼻咽喉科学会森山寛理事長により学会・医会協議会の見直しのためのWG(ワーキンググループ)が作られ、私も委員を受諾し、既に7月31日と9月11日にWGが開かれました。また日耳鼻医会の意見を述べるために学会・医会協議会の理事長指名の常任委員にも加わりました。さらに9月18日には学会・医会協議会常任委員会が開かれ、医会のない県にも医会を作って貰い、改めて全国的な医会組織を作る方向で協議がなされております。

日耳鼻医会としては、かねてより組織の拡大を図り、全国組織になるのが念願でありましたが、思うような成果を上げることが出来ておりません。この度の学会からの申し出を受け、理事会でもこの機会を失うと永久に学会との関係改善は図れないという意見でまとめ、改めてその作業に協力して行くことになりました。

来年は前身の日耳鼻医連ができて50周年になります。これまで紆余曲折がありましたが、当会に対する加入医会・会員の情熱溢れるご支援のお陰で会員の為になる事業を行う事が出来てきております。今後、新しい組織がどのような形で作られるか期待と不安が交錯していますが、是非とも臨床家フォーラムを初めとして、皆様の協力のもと、これまで行ってきた多くの活動を途切れさせたいと思っております。

全国的な耳鼻科医会の設立に対しまして、会員の皆様にご理解とご協力をお願い致しますと共に、左記案内の通り、医会長協議会を行いますので忌憚のないご意見を所属医会長先生または当会事務局(FAX 03-5524-5228)へお寄せ頂きますよう併せて宜しくお願い申し上げます。

■「保険医登録制度」で見直しを提言

地域医療機能推進機構(JCHO)の尾身茂理事長は10月6日、参考人として出席した厚生労働省の分科会で、医師の地域偏在解消に向けた施策として、保険医登録や保険医療機関の管理者について一定の制限を設けることを提案しました。分科会委員から強い反発はなく、多くの委員が賛意を示しました。分科会では医師偏在対策について法改正をにらみつつ、12月上旬の取りまとめに向けて議論を深めていく方向。

尾身氏は「臨床研修制度改革」「地域ごとの医師確保目標数の設定」「管理者要件の見直し」などが実現すれば地域偏在解消策としての実効性は高いだろうと期待感を示す一方で、最も高い実効性を持つ施策は「保険医登録制度」を見直すことだと提起した。

■個人病歴：一元管理 医療効率化

厚労省は10月19日、病院での治療歴や健診結果など国民の医療や保健に関するさまざまな情報を統合し、病院や介護などの現場で活用できるデータベースを2020年度から運用する構想を明らかにした。国民一人一人に最適な医療や保健サービスの提供を目指すとともに、投薬や検査の重複を防ぐことで医療費の節約にもつなげた

い考え。一方、情報提供への同意の取得や個人情報の取り扱いなど、実現には高いハードルが想定される。

■インフルエンザ異例の秋流行

沖縄県内のインフルエンザ流行が過去5年で最も早いペースで始まっている。沖縄県健康長寿課は2日、10月24~30日の1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者が11.4人に上り、前週に続き注意報基準値(10人)を超えていると発表した。同課はインフルエンザ注意報の発令を継続している。インフルエンザウイルスを検出したところ、A型が約9割を占めた。沖縄県内ではインフルエンザ患者数が増える冬場は通常、A型ウイルスが主流となるため、専門家は例年より早く流行期間に入ったとみて、10月26日に注意報を発令。過去5年で最も早い発令だという。

■2017年春の花粉飛散予測(第1報)

～前シーズンの2倍以上は、西日本を中心に17府県も～近畿地方、四国地方と九州地方で、前シーズンの2倍以上の飛散数となる見込み。東海地方、中国地方は多く、北陸地方はやや多く飛散する予測となっている。関東地方はやや少なく、北海道、東北地方では少ない見込み。一方、例年比でみると、東北地方と関東地方でやや少なく、北海道では非常に少ない予想。その他の地域では例年並みか例年を上回る見込み。(日本気象協会10/6)

まだないくすりを
創るしごと。

明日は変えられる。

astellas
Leading Light for Life
アステラス製薬
www.astellas.com/jp/

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会

〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F

TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228

HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail jimu@jenti.or.jp